

わたしたちの物語

〜妻と娘とそれから私〜

佐藤剛之さん(82才) & 大正大学社会福祉学科3年 守屋伶雅さん

妻？

妻との出会いは東京に越してきてからだよ。

出合いは職場だったよ。

事務員をやってね。六歳年下なんだよ

尻に敷かれてばかりだったよ。

だから、いろんなことは言わない。

頭のいい人だったよ。

そこにあるパソコンもほとんど妻が使ってたよ。

運転も自分じゃなくて、妻にしてもらってました。

なんでも、できる人にやってもらった方がいいですよ。

買い物も妻がしてくれてたね。

自分で食べるものと靴は自分で買ってたけど。

服なんかは、自分で選んだらおしゃれするために自腹にならなきゃ。

妻が買ってってくれれば、家計でやりくりしてくれるからね。

そういえば、北陸へ出張に行くことがあったね。

ブーツっていうんだっけ、雪が降ってもいいよねって。



お父さん、靴何センチくらい

あの時初めて靴のサイズを教えたなあ。

娘は理系の大学を出て研究職です。

頭の良さは妻に似たんだね。

娘が大学院を出た後、イエール大学に行ったんだけど、

当時の娘の彼氏の母親がアメリカに行きたいって言って、

うちの妻も一緒に行ったんだよ。

でも、向こうの日那さんが行かないって言ったから僕も行かなかった。

男ってそういう所があるからな。

妻は今、老人ホームにいるんだよ。

認知症だね。

要介護3だったんだけど、一年で要介護5まで悪化してね。

この前にホームの人から連絡が来てね。

体は元気だった。

僕よりも早く認知症になっちゃったからね。

生きてると人生、どうなるかわからないよ。

この先も、このままの生活がいいよ。

健康のために自分で新聞を買いに行つて、

ゆっくゆっくテレビを見るよつな

じいじ、おだやかな生活がいい。